

WHO ファクトシート

地域医療保険制度

Community based health insurance

2020年3月7日

重要事項

- ・地域社会を基盤とする健康保険(CBHI)制度は、通常、任意であり、その特徴は医療コストを補填するために地域社会の人々が資金をプールすることです。
- ・このシステムには多くの期待が寄せられているにもかかわらず、データでは CBHI の経済的メリットと医療の利用度は、被保険者にとって中程度であることが示唆されています。
- ・多くの CBHI の枠組みは加入者が不十分で、最貧層は通常除外されたままです。
- ・理論と実際面から、CBHI は、国としてユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)を実現する上で、限定的な役割しか果たしていないことが示されています。
- ・しかし、地域社会の発展や医療機関の地域における説明責任など、他のプラスの影響を及ぼすことができます。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Community based health insurance

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/community-based-health-insurance-2020>